

ピアノが弾きたい

NHKのBS1で放送されている「空港ピアノ・駅ピアノ」という番組をご覧になったことはありますか。

アムステルダム・ロンドン・シチリア島など世界各国の空港や駅に、誰でも弾くことのできるピアノを1台置き、その様子を定点カメラで撮影した15分の短い番組です。

偶然ピアノの前を通りかかった人がフラッとピアノを弾き、曲にまつわる思い出やエピソード、どこから来てどこへ行くのかなどをカメラに語ってくれます。



プロポーズした時に弾いた思い出の曲を奏でる仕事帰りの男性、独学で練習したお気に入りの映画の挿入曲を披露する女性、聖歌隊だった彼女の歌声に合わせて彼氏がピアノを弾くバカンス帰りのカップル、祖父を亡くした若者は幼いころに教えてもらった思い出の曲を弾き、移民としてその地で働く老人は遠い南米の故郷を思いながら懐かしい曲を弾く……。さりげなく演奏した曲に人それぞれのドラマがあり、私は偶然目にしたこの番組のとりこになってしまいました。

自分が異国の地でピアノを見つけた時、はたしてどんな曲を弾き、どんな思い出を語る事ができるのだろう……。そう思ってホコリを被った楽譜を引っ張り出したものの、あるのはハノン・ブルグミュラー・ソナチネなどの、昔ピアノ教室で習った練習曲ばかり。そういえば私にとってピアノを弾くという行為は、「レッスンの為に渋々練習する」といった感覚で、しかも人前に出るのが苦手な私はピアノの発表会が特に嫌だったのでした。

この番組に出てくる人たちの様に、自分の好きな曲を独学で練習したり、自由に伸び伸びと人前で演奏を楽しんだりして、もっと気軽にピアノに触れてみたいと思わせてくれた番組です。



ピアノをテーマにした小説を読んで、ピアノを弾いた気になってみるのもいいかもしれません。

「蜜蜂と遠雷」恩田陸著 楠元開架 1 F 913.6/On

第156回直木賞&2017年本屋大賞をダブル受賞した作品です。ピアノコンクールを舞台に天才たちが競演するお話です。2019年10月に映画化されました。

「シューマンの指」奥泉光著 楠元開架 1 F 913.6/Ok

音大のピアノ科を目指していた主人公が、傾倒するシューマンの「幻想曲」を偶然耳にした直後、プールで女子高生が殺され……。音楽評論のようなミステリー小説作品です。

「四日間の奇蹟」浅倉卓弥著 楠元開架 1 F 913.6/224

第1回『このミステリーがすごい!』大賞・金賞受賞作品です。脳に障害を負いながらも天才的なピアノの才能を持つ少女と、不慮の事故でピアニストの道を閉ざされた青年が、山奥の診療所で遭遇する不思議な出来事を描いています。2005年6月に映画化されました。